

平成25年度自動車運送事業会計決算概況

交 通 局

1 平成25年度自動車運送事業会計決算概況

(総括事項)

市バス事業は、市民の大切な公共交通機関として重要な役割を果たしています。しかし、社会経済情勢は急速に変動していることから、経営を取り巻く環境の変化に的確に対応し、持続可能な経営基盤を確立するとともに、将来にわたって公営バスの意義・役割を果たしていくため、平成21年3月に策定した「川崎市バス事業ステージアップ・プラン」により経営の改善に努めてきました。

平成25年度の経営改善の主な取組としては、平成24年度に引き続き上平間営業所及び菅生営業所について、民間事業者への管理委託による運行を行うとともに、東扇島総合物流拠点地区への企業進出に伴う就業者数の増加など需要の変化に応じたダイヤ改正に取り組みました。

平成25年度の経営状況については、収入としては、需要の変化に応じたダイヤ改正などにより乗車人員の増加を図りましたが、本市の障害者の移動手段確保対策事業の見直しによる影響が平年度化したことなどにより、乗車料収入全体としては前年度を下回りました。支出としては、営業所の管理委託の実施、軽油の価格動向等を踏まえた調達期間の設定などにより経費の抑制を図りましたが、定年退職者数の増等による退職給与金の増加、軽油価格の高騰等による自動車燃料費の増加などにより、支出額全体としては前年度を上回り、収益的収支は赤字決算となりました。

今後も輸送の安全性を着実に確保するとともに、さらなる経営改善とお客様サービスの向上に取り組んでまいります。

(1) 営業状況

(運輸成績)

事業の根幹である乗車料収入は、乗合乗車料収入と貸切乗車料収入を合わせ74億8,150万4,973円で、本市の障害者施策の見直しによる減収がその他の定期及び定期外収入の増収を上回り、前年度と比較して6,267万2,787円の減、乗車人員は4,645万9,519人で前年度と比較して84万6,174人の減となりました。

(安全・安心な輸送サービス)

お客様に安全で確実な輸送サービスを提供するため、運転手グループ制の活用、

点呼実施の徹底、運行管理者の育成など、運行管理体制の充実・強化に取り組むとともに、グループワーク研修の充実などによる運転手の安全意識向上に向けた研修体制の強化、民間委託による添乗観察の実施などにより、運輸安全マネジメントを着実に推進しました。

また、災害時等に備えて、非常用照明機材等を本局及び各営業所に配備し、危機管理体制の強化に取り組みました。

(お客様満足度の向上)

東扇島総合物流拠点地区への企業進出に伴う就業者数の増加に対応するため、5月1日から県営埋立線を民営バス事業者へ委譲し、川崎駅から同地区へ運行している東扇島循環線の輸送力増強に取り組むなど、需要の変化に応じたダイヤ改正を実施し、市バスネットワークの充実に取り組みました。

また、市民やお客様への約束である「市バスサービスポリシー」の実践に向けて、グループワーク研修などを通して取組を徹底するとともに、「市バスアンケート調査」を集計及び分析し、お客様満足度の更なる向上に取り組みました。

さらに、市バスの運行情報を提供する「市バスナビ」サービスについて、スマートフォン対応ページを新たに作成し、利便性の向上を図り、バス停留所施設の改善として、上屋8基、照明付バス停留所標識20基、停留所ベンチ50脚の整備を行いました。

(社会的要請への対応と地域貢献)

平成25年度は、バス車両11両を購入しました。

福祉施策としては、どなたにも利用していただきやすい、バリアフリー対応車両の導入を、市バス全車両で達成しました。

また、環境への配慮として、購入車両のうち4両については、燃費が良くCO₂の削減効果に優れたハイブリッドノンステップバスを導入しました。

(2) 経営成績

収益的収支は、事業収益91億9,505万7,927円に対して、事業費用は95億7,339万6,130円で収支差引は3億7,833万8,203円の赤字となり、消費税等を除いた収支差引では、3億9,470万2,384円の純損失となりました。この結果、平成25年度未処理欠損金は6,301万1,501円となりました。

2 平成25年度自動車運送事業会計決算（総括表）

（単位：円、％）

(1) 予算執行状況(税込)

ア 収入

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
1 収益の収入	9,260,041,000	9,195,057,927	△ 64,983,073	99.3
2 資本の収入	378,986,000	298,335,490	△ 80,650,510	78.7
合 計	9,639,027,000	9,493,393,417	△ 145,633,583	98.5

イ 支出

科目	予算額	決算額	増△減	執行率
1 収益の支出	9,784,249,000	9,573,396,130	△ 210,852,870	97.8
2 資本の支出	1,214,671,000	1,159,671,935	△ 54,999,065	95.5
合 計	10,998,920,000	10,733,068,065	△ 265,851,935	97.6

(2) 総合収支

区分	収入	支出	収支差引
総合収支	9,493,393,417	10,733,068,065	△ 1,239,674,648

(3) 財源収支

項目	金額	内訳
①総合収支差引額	△ 1,239,674,648	
②当年度分損益勘定留保資金	658,357,991	減価償却費 654,715,408 固定資産除却損 3,642,583
合 計 ③ = ① + ②	△ 581,316,657	当年度財源余剰(△不足)額

(4) 累積財源過不足額

前年度末財源余剰額	④	621,699,449
当年度財源余剰(△不足)額	③	△ 581,316,657
当年度末財源余剰額	④ + ③	40,382,792

(5) 経営成績(税抜)

科目(費用)	金額	科目(収益)	金額
営業費用	9,226,881,171	営業収益	7,596,794,550
営業外費用	45,905,850	営業外収益	1,283,884,425
特別損失	6,722,625	特別利益	4,128,287
総費用	9,279,509,646	総収益	8,884,807,262
当年度純利益	—	当年度純損失	394,702,384
前年度繰越利益剰余金	331,690,883	前年度繰越欠損金	—
当年度未処分利益剰余金	—	当年度未処理欠損金	63,011,501

3 業務量

(1)乗合自動車事業

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増△減	
	数量	1日平均	数量	1日平均	数量	1日平均
期末営業キロ	195.09 km	-	202.24 km	-	△ 7.15 km	-
営業日数	365日	-	365日	-	0日	-
期末在籍車両数	335両	-	328両	-	7両	-
延実働車両数	107,870両	296両	107,239両	294両	631両	2両
実車走行キロ	12,943,383 km	35,461 km	12,803,374 km	35,078 km	140,009 km	383 km
乗車人員 増減率	46,192,701人	126,555人	47,051,200人	128,907人	△ 858,499人 △ 1.8%	△ 2,352人 △ 1.8%
定期	10,746,302人	29,442人	12,514,150人	34,285人	△ 1,767,848人	△ 4,843人
うち特別乗車証分	2,767,022人	7,581人	5,208,298人	14,269人	△ 2,441,276人	△ 6,688人
定期外	35,446,399人	97,113人	34,537,050人	94,622人	909,349人	2,491人
うち高齢者外出 支援乗車事業分	4,877,901人	13,364人	4,638,817人	12,709人	239,084人	655人
うち障害者外出 支援乗車事業分	2,217,790人	6,076人	1,205,874人	3,304人	1,011,916人	2,772人
乗車料収入(税抜) 増減率	7,448,701,944円	20,407,403円	7,509,942,345円	20,575,185円	△ 61,240,401円 △ 0.8%	△ 167,782円 △ 0.8%
定期	1,387,044,660円	3,800,123円	1,590,018,264円	4,356,215円	△ 202,973,604円	△ 556,092円
うち特別乗車証分	394,095,150円	1,079,713円	677,071,935円	1,854,992円	△ 282,976,785円	△ 775,279円
定期外	6,061,657,284円	16,607,280円	5,919,924,081円	16,218,970円	141,733,203円	388,310円
うち高齢者外出 支援乗車事業分	965,813,930円	2,646,066円	918,257,593円	2,515,774円	47,556,337円	130,292円
うち障害者外出 支援乗車事業分	243,010,586円	665,782円	130,322,850円	357,049円	112,687,736円	308,733円

(2)貸切自動車事業

区 分	平成25年度		平成24年度		比較増△減	
	数量	1日平均	数量	1日平均	数量	1日平均
営業日数	365日	-	365日	-	0日	-
期末在籍車両数	5両	-	5両	-	0両	-
延実働車両数	739両	2両	715両	2両	24両	0両
実車走行キロ	36,522 km	100 km	35,566 km	97 km	956 km	3 km
乗車人員 増減率	266,818人	731人	254,493人	697人	12,325人 4.8%	34人 4.9%
乗車料収入(税抜) 増減率	32,803,029円	89,871円	34,235,415円	93,796円	△ 1,432,386円 △ 4.2%	△ 3,925円 △ 4.2%

※ 再掲(単位:人、円)

乗車人員計(乗合+貸切)

乗車人員(特別乗車証分、高齢者分並びに障害者分除く)

特別乗車証分

高齢者外出支援乗車事業分

障害者外出支援乗車事業分

乗車料収入計(乗合+貸切)

乗車料収入(特別乗車証分、高齢者分並びに障害者分除く)

特別乗車証分

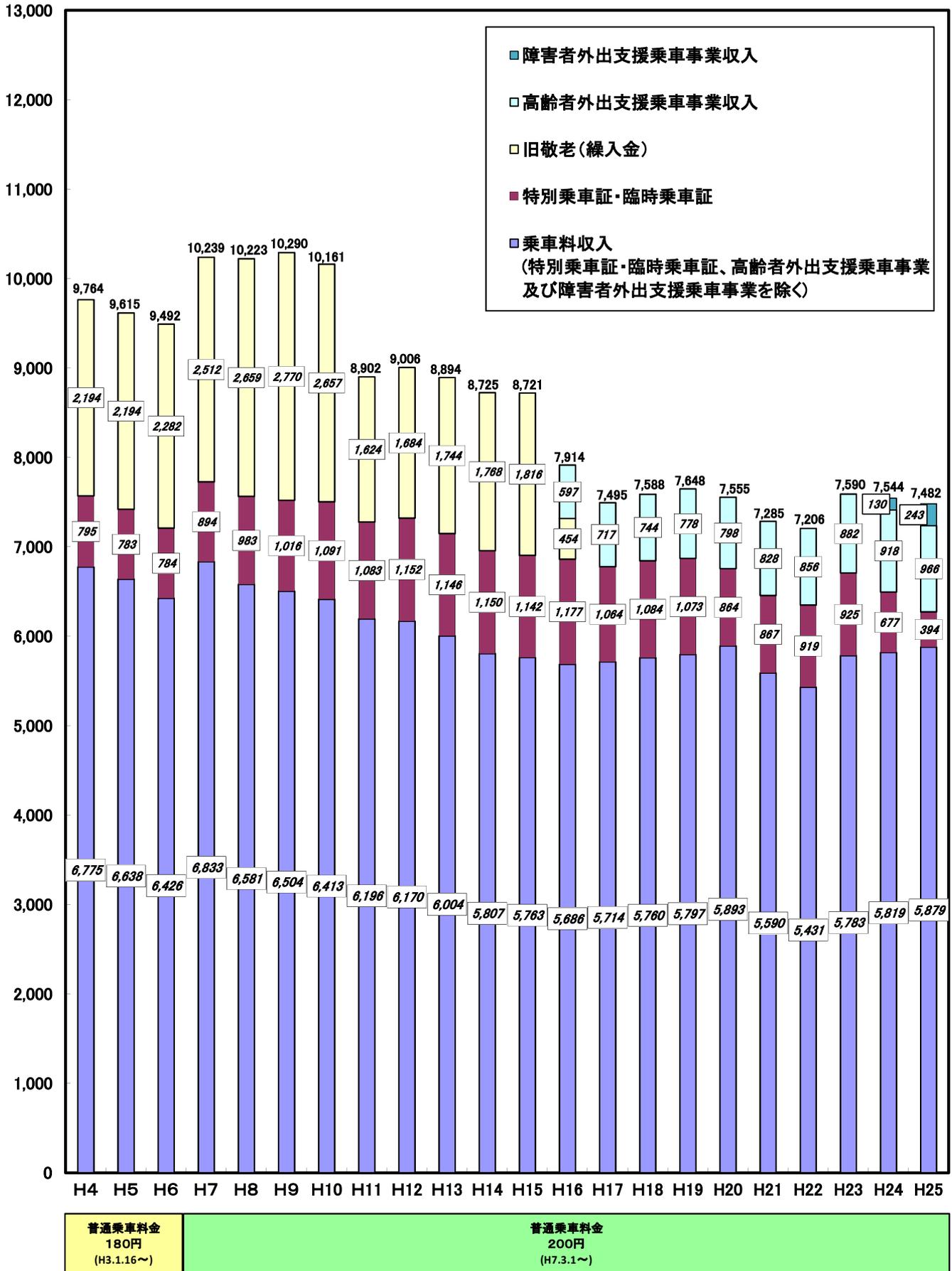
高齢者外出支援乗車事業分

障害者外出支援乗車事業分

	平成25年度	平成24年度	比較増△減	増減率
乗車人員計(乗合+貸切)	46,459,519	47,305,693	△ 846,174	(△ 1.8%)
乗車人員(特別乗車証分、高齢者分並びに障害者分除く)	36,596,806	36,252,704	344,102	(0.9%)
特別乗車証分	2,767,022	5,208,298	△ 2,441,276	(△ 46.9%)
高齢者外出支援乗車事業分	4,877,901	4,638,817	239,084	(5.2%)
障害者外出支援乗車事業分	2,217,790	1,205,874	1,011,916	(83.9%)
乗車料収入計(乗合+貸切)	7,481,504,973	7,544,177,760	△ 62,672,787	(△ 0.8%)
乗車料収入(特別乗車証分、高齢者分並びに障害者分除く)	5,878,585,307	5,818,525,382	60,059,925	(1.0%)
特別乗車証分	394,095,150	677,071,935	△ 282,976,785	(△ 41.8%)
高齢者外出支援乗車事業分	965,813,930	918,257,593	47,556,337	(5.2%)
障害者外出支援乗車事業分	243,010,586	130,322,850	112,687,736	(86.5%)

4 乗車料収入等（税抜）の推移

(単位 百万円)



5 財政健全化法における資金不足比率の状況

会 計 名	資金不足比率	経営健全化基準
自動車運送事業会計	— (資金不足となっていない)	20%

※資金不足比率は現段階での速報値であり、今後、監査委員の審査を経た上で議会に報告し確定します。